

## 20 島の主はオオウナギ 樺島 (野母崎町)

500 0 500 1000 1500m

**コースガイド**

- 西廻りコース
  - ① 樺島バス停 (集落の通りを南へ進む) ➔ ② オオウナギ生息井戸 ➔ ③ グランド ➔ ④ 地下ダム (海岸まで行って登る) ➔ ⑤ 樺島灯台 ➔ ⑥ 岬展望所 (全75分)
- 東廻りコース
  - ① 樺島バス停 (東へ北蔵へ進む) ➔ ⑦ 熊野神社 ➔ ⑧ 行者山山頂 ➔ ⑤ 樺島灯台 ➔ ⑥ 岬展望所 (全85分)
- 7カ所 ▶ 長崎駅前 (長崎バス:80分) ① 樺島バス停 ※「樺島」行き

**景観** 長崎半島の最先端に浮かぶ樺島は1986年(昭和61) 臨岬との間に橋が架けられ陸路で行けるようになった。島の南端、行者山 (118m) の尾根上に樺島灯台があり、一帯は灯台公園として整備されていて、遊具や海岸沿いの遊歩道、キャンプ場、しょうぶ園などがある。展望台からはぐるりと視界いっぱい広がる海の景色を満喫できる。

**地質** 樺島はおもに緑色片岩が分布しており、西海岸には珪質片岩 (片理面

**植物** タフノキ・ヤブニッケイ・ドクダミ・カクレミノ・ムササビ・アザミ・ヒゲスダ・アオノクマタケラン・オオイワヒトア・キョウシュンシカ・ノシラン

**動物** タフノキ・ヤマニッケイ・ドクダミ・カクレミノ・ムササビ・アザミ・ヒゲスダ・アオノクマタケラン・オオイワヒトア・キョウシュンシカ・ノシラン

**地質** 石炭片岩、珪質片岩、花こう岩

**植物** モチノキ・ハマセンダン・タフノキ・マサキ・トベラ・カクレミノ・ノシラン・アオノクマタケラン・ムササビ・タマシダ

**海岸植物** シヤリンバイ・トベラ・ネズミモチ・ツルグミ・ボタンボウフウ・ホソバワダン・ハマデンコ・タイトコメ・ハマボラス

**地質** 珪質片岩 (片理面

## コースガイド

**コース**

- 西廻りコース
  - ① 樺島バス停 (集落の通りを南へ進む) ➔ ② オオウナギ生息井戸 ➔ ③ グランド ➔ ④ 地下ダム (海岸まで行って登る) ➔ ⑤ 樺島灯台 ➔ ⑥ 岬展望所 (全75分)
- 東廻りコース
  - ① 樺島バス停 (東へ北蔵へ進む) ➔ ⑦ 熊野神社 ➔ ⑧ 行者山山頂 ➔ ⑤ 樺島灯台 ➔ ⑥ 岬展望所 (全85分)
- 7カ所 ▶ 長崎駅前 (長崎バス:80分) ① 樺島バス停 ※「樺島」行き

**景観** 長崎半島の最先端に浮かぶ樺島は1986年(昭和61) 臨岬との間に橋が架けられ陸路で行けるようになった。島の南端、行者山 (118m) の尾根上に樺島灯台があり、一帯は灯台公園として整備されていて、遊具や海岸沿いの遊歩道、キャンプ場、しょうぶ園などがある。展望台からはぐるりと視界いっぱい広がる海の景色を満喫できる。

**地質** 樺島はおもに緑色片岩が分布しており、西海岸には珪質片岩 (片理面

**自然観察** 樺島はおもに緑色片岩が分布しており、西海岸には珪質片岩 (片理面

に沿って細かなレンズ状の石英を多く含み、南東の桃瀬には白亜紀に貫入した

**動物** オオウナギの生息井戸は1923年(大正12)に国指定の天然記念物となっており、現在も8代目が鹿児島から迎えられて入っている。この井戸だけでなく、島内の小さな河川でもオオウナギは発見されており、県内有数の生息地と言える。

**植物** アオノクマタケランは常緑の亜熱帯性大型草本で、高さは1mを超える。葉は狭長楕円形で先は尖り、やや光沢のある鮮緑色をしている。長崎県では五島列島南部、西彼杵半島西部、平戸島などに分布する。長崎市周辺では野母半島の先端部に見られ、照葉樹林の林床に

生育する。初夏に白色の花を咲かせ、晩秋には赤い実をつける。

**野鳥** 低山地で海に囲まれていて港付近を中心にトビやカラスが多く、冬は海上にウミネコやセグロカモメの群れやハジロカイツブリの群れが見られ、広い海洋の鳥カツドリやオオミスナギドリの飛翔も稀に見られる。岩礁付近では、クロサギ、ウミウ、イソヒヨドリなど海岸付近の鳥が見られる。林ではウグイス、メジロ、ヒヨドリ、キジバトなどの鳥も見られる。

**自の穴** 花崗岩が散在する。長崎半島の東側と西側を南下した沿岸流の合流地点で、波が高い。変成岩の片理や花崗岩の節理に沿って侵食を受け、海食洞が発達している。「白戸の穴」「針のメンス(針の穴)」などが有名である。

## 長崎市周辺の天然記念物

### 三重海岸の変成鉱物

(県指定天然記念物/長崎市三重町)

西彼杵半島は、主として堆積岩起源の変成岩で構成され、大部分は石炭(せきぼく)に富む黒色片岩である。一部に石炭を含まない石英片岩もあるが、一括して西彼杵変成岩類と呼ばれている。これにはところにより、連続性のよい薄い緑色片岩や蛇紋岩などの緑色岩をともなう。長崎市三重海岸に露出する緑色岩には、陽起石(ようきせき)、緑簾石(りよくれんせき)、緑泥石(りよくいでせき)、曹長石(そうちょうせき)などの変成鉱物とともに、ヒスイ輝石が含まれている。ヒスイは世界的に産出が稀な鉱物で、宝石ヒスイのほとんどはビルマが原産地。日本では新潟県小湊が産出地として有名である。三重町三重海岸では、